

哀愁(こころ)の故郷(ふるさと)

松下幹生

田畑の隅に 木で囲われた
藁葺き屋根の
 ばあちゃんが住む 家がある
春はすみれと 菜の花畑
夏はツバメと ホタル舞う
風情豊かな 田舎の景色
楽しみだった ばあちゃんチ

笑顔で迎え 優しい言葉
子供心に
 ばあちゃんの家 好きだった
川で泳いで 夜は花火と
冷えたスイカに 真桑瓜
我が儘通る 天国だった
ちょっと遠くの ばあちゃんチ

小雪ちらつく 夕暮れ時に
父母が急がせ
 ばあちゃんのこと 行くんだと
なにが何やら 訳も分からず
着いたら人が 沢山で
座敷でばあちゃん 寝かされていた
重い空気の ばあちゃんチ

